

聖体礼拝とは

「わたしは、天から降って来た生きたパンである。」

(ヨハネ 6・51)

イエス・キリストは御聖体、御聖体はイエス・キリストであり、聖体礼拝とは、御聖体として現存されているイエスさまを礼拝する事です。

現代の日本の教会では機会はあまり多くありませんが、海外では、教会の中に「アドレーションチャペル」と呼ばれる礼拝堂が設置されていたり、24時間聖体礼拝を行っている修道会もあり、御聖体に対する崇敬が身近に広がっています。

聖体礼拝を行う事で、神さまと深く交わることが出来、自分自身のみならずすべてを見つめなおすことが出来ます。

与り方

初めと終わりに、御聖体の前で姿勢を正し、十字架のしるしをします。

その他は、個人とイエスさまさまとの時間です。

主の祈り、アヴェ・マリアの祈り、靈的聖体拝領の祈り、自分自身に必要な祈りを唱えたり、ロザリオの祈りを行ったり、あるいは祈祷文を用いて祈る方法もあります。(「聖体礼拝の式次第」PDF 参照)

聖体礼拝で最も大切なのは沈黙の中での神さまとの語り
です。

イエスさまが私たちの罪のためにご自身を捧げてくださ
った事を思い起こし、私たちへの神さまの愛を信じ、神さまを愛し
ましょう。

そして、誰よりも私たちを愛し理解してくださるイエスさま
に、崇拜と感謝と共に自分の思いを素直に伝えましょう。そこ
では一人で抱えている傷や苦しみすらもさらけ出せるのです。私
たちの事を分かってくださっているイエスさまですが、私たちが伝
える事で更に絆は深まります。

その時、直接声は聞こえませんが、慈しみ深い愛や導きが心
に届きます。心の耳を傾け委ねましょう。イエスさまは私たちと
の対話を切望しています。

信仰は心で感じるものでもあります。聖体礼拝を行い神さま
との交わりを深めていきましょう。

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

(マタイ 28・20)